



# 平和首長会議ニュース

2023年6月 / 第162号

平和首長会議加盟都市数

166 か国・地域 **8,259** 自治体

加盟都市数 **10,000** 都市を目指しています！

日本国内加盟自治体数：1,738

(2023年6月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

🌐 ウェブサイト:

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/>

📘 フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

🐦 ツイッター:

<https://twitter.com/Mayors4Peace>

「いいね！」をお待ちしています。

## <<今号の内容>>

- ◆ 第11回国内加盟都市会議総会の開催について
- ◆ 全米市長会議年次総会において平和首長会議加盟都市が提案した決議文が採択されました
- ◆ 国際平和デー100日前メッセージを発出しました
- ◆ 子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2023の応募をお待ちしています
- ◆ 平和首長会議メンバーシップ納付金に御協力をお願いします
- ◆ 加盟都市の活動紹介
- ◆ 平和首長会議加盟自治体数: 166か国・地域 8,259自治体
- ◆ 専門委員によるレポート
- ◆ 平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆ 平和教育の取組事例を募集しています
- ◆ 長崎大学核兵器廃絶研究センターから: 2023年版「世界の核弾頭データ」ポスターを発行
- ◆ ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆ 広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

=====  
**■第11回国内加盟都市会議総会の開催について**  
=====

国内1,738の加盟都市の首長で構成する「平和首長会議国内加盟都市会議」では、平和首長会議の国内における取組の充実を図るため、毎年一回総会を開催し、取組についての協議・意見交換、加盟都市の取組についての情報交換等を行うこととしています。

今年度は、メールでご案内したとおり、令和5年10月18日(水)、19日(木)に、兵庫県姫路市において、第11回平和首長会議国内加盟都市会議総会を開催いたします。

については、総会、意見交換会及び行政視察への出席、参加都市による平和活動の取組事例報告及び加盟都市情報コーナーでの展示・配架希望の有無について、メールに添付した「出席等連絡票」により、8月4日(金)までにご回答くださいますようお願いいたします。

皆様のご出席を心よりお待ち申し上げます。

日程: 令和5年10月18日(水)、19日(木)  
会場: (1) 総会会場: アクリエひめじ  
(姫路市文化コンベンションセンター)  
(2) 意見交換会会場: ホテルモンテ姫路

過去の議事資料や出席者名簿は平和首長会議ウェブサイトに掲載しています。

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/history/jp-meeting/>



=====  
**■全米市長会議年次総会において平和首長会議加盟都市が提案した決議文が採択されました**  
=====

平和首長会議は都市・市民レベルでの核兵器廃絶に向けた気運の醸成を図るため、世界の自治体組織との協力関係を構築しています。米国の人口3万人以上の都市を対象とした超党派の組織である全米市長会議についても、会長(松井広島市長)の全米市長会議総会出席(2018年・2019年)等を通じ、平和首長会議の取組について紹介するとともに、米国における加盟拡大について協力を呼び掛けてきました。

全米市長会議は6月2日(金)からオハイオ州コロンバス市において第91回年次総会を開催し、「核戦争の回避、ウクライナ紛争の解決、中国との緊張緩和及び軍事費の人間のニーズを満たす事業への充当のための緊急行動を呼び掛ける決議」を6月5日(月)に満場一致で採択しました。これは平和首長会議の米国のリーダー都市であるデモイン市長を中心とした12名の市長が共同提案したものです。



全米市長会議年次総会 国際問題委員会において  
スピーチを行うデモイン市長(6月3日)  
写真提供: 全米市長会議

決議文では、平和首長会議を始めとする都市レベルの外交が果たす役割の重要性が増していることについて触れるとともに、ロシアによるウクライナ侵攻及び核兵器の使用の威嚇を非難し、米国政府に対して、新戦略兵器削減条約(新START)の後継条約の締結に向けた米ロのハイレベル協議の再開や中国との緊張緩和に向けて一層の努力を行うことを求めています。

なお、全米市長会議は2006年以降毎年、平和首長会議加盟都市が提案した決議文を採択しており、今回で18年連続の採択となります。採択された決議文は全米市長会議の公式な政策となり、今後1年間同会議の活動の指針となります。

決議文<日本語訳>(平和首長会議ウェブサイト):  
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/2023/post-230607/>

決議文<英語原文>(平和首長会議ウェブサイト):  
<https://www.mayorsforpeace.org/en/news/2023/post-230607-3/>

=====

## ■国際平和デー100日前メッセージを発出しました

[2023年6月13日]

=====

国連では、毎年9月21日を「国際平和デー」と定め、世界の停戦と非暴力の日としてこの日一日敵対行為をやめるよう呼び掛けています。平和首長会議も、「国際平和デー」の理念に賛同し、記念行事を開催するとともに、世界各地にその開催を呼び掛けてきました。



国際平和デー100日前に当たる6月13日に際し、松井会長がメッセージを発出しました。平和首長会議加盟自治体の皆様におかれましては、こうした趣旨をご理解いただき、2023年の国際平和デー記念行事を開催してまいりますようお願いいたします。

🔗 国際平和デー(2023年9月21日)100日前メッセージ(平和首長会議ウェブサイト):

[https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2023/file-2306-230613\\_IDP\\_100day\\_message\\_J.pdf](https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2023/file-2306-230613_IDP_100day_message_J.pdf)

🔗 International Day of Peace 21 September (英語)(国連ウェブサイト):

<https://www.un.org/en/observances/international-day-peace>

貴自治体で国際平和デー記念行事を開催された場合は、その内容について、平和首長会議事務局までご一報ください。平和首長会議ウェブサイト等でご紹介いたします。

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

=====

## ■子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2023の応募をお待ちしています

=====

平和首長会議では、加盟都市における平和教育の更なる充実を図るため、世界166か国・地域の8,200を超える加盟都市の6歳以上15歳以下の子どもたちを対象とした“平和なまち”絵画コンテスト2023を実施し、作品を募集しています。

- 募集部門: ①「6歳～10歳の部」 ②「11歳～15歳の部」
- 応募点数: 1都市につき各部門最大5作品まで
- 提出期限: 10月31日(火) 17時
- 作品提出・問い合わせ先: (Email) [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

🔗 絵画コンテストの詳細については、平和首長会議ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/art/>

=====

## ■平和首長会議メンバーシップ納付金にご協力をお願いします

=====

平和首長会議では、活動の活発化と連帯意識強化を図るため、メンバーシップ納付金制度を導入し、1自治体当たり年額2,000円の負担をお願いしています(日本非核宣言自治体協議会の会員自治体は免除)。

加盟自治体の皆様へは、本年4月6日付けで請求書等を郵送しております。納付期限は6月30日(金)となっておりますので、ご対応のほどよろしくお願いいたします。

また、自治体判別のため、お振込の際には振込人のお名前の前に「全国地方公共団体コード」の記入をお願いいたします。「全国地方公共団体コード」の入力が難しい場合はお手数ですが、お振込の日付と振込人のお名前を平和首長会議事務局までメールでお知らせください。

なお、今年度の納付金の負担が困難な場合は、免除の手続きを行いますので、免除を希望する理由(予算措置無し等)を記載の上、必ず平和首長会議運営課までメールでご連絡くださいますようお願いいたします。

納付金を負担しない場合でも、その自治体に離脱を求めることはいたしませんので、引き続き平和首長会議加盟自治体として、市民の平和な生活を守るため、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向け共に行動していただければ幸いです。

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp) TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452



=====  
**■加盟都市の活動紹介**  
=====

●東京都西東京市

平和啓発映像の制作・上映 『忘れてはいけない記憶～西東京市にもあった戦争・アニメ原爆の記～』

西東京市は、終戦から70年を迎えた平成27年度(2015年度)に、戦時中にあった市内の出来事や今も残る市内の戦跡、体験談などをまとめた映像作品『忘れてはいけない記憶～西東京市にもあった戦争～』を市民との協働で制作しました。

今回、この映像作品に、合併前の初代田無市長である指田吾一氏が自身の被爆体験を綴った書籍『原爆の記』の一部をアニメーション化して加えたほか、新たな戦争遺跡を収録するなどのリニューアルを行いました。

令和5年(2023年)4月12日の「西東京市平和の日」に際しては、式典・パネル展示に併せた関連イベントとして、映像作品の上映会を開催したほか、アニメーション監督や市長、関係者を交えたミニトークを行いました。



上映会の様子



ミニトークの様子

写真提供: 西東京市

<< 貴自治体の平和活動の情報をお知らせください >>

平和首長会議事務局では、[行動計画](#)に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事等の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの[「加盟都市の活動」コーナー](#)でご紹介します。特に、次代の平和活動を担う青少年の育成に関する事業や、「平和文化の振興」に寄与する活動について、ご報告いただけますと幸いです。

**是非、短文のご報告(最大400字程度)を写真とともに、平和首長会議事務局までお寄せください。**

Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

=====  
**■平和首長会議加盟自治体数: 166か国・地域 8,259自治体**  
 =====

2023年6月1日付で、3自治体が加盟し、加盟自治体数は8,259都市となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国名	新規加盟都市名	加盟都市数	備考
カナダ	シャルルマーニュ	113	同国の加盟都市であるテルボンヌ市の呼び掛けにより加盟。
イタリア	ベルチエート等2都市	523	イタリア軍縮科学者連盟(USPID)の呼び掛け等により加盟。

## 2か国から3都市が加盟

**カナダ 1都市**

**イタリア 2都市**

加盟都市数

166

か国  
地域

8,259

都市

2023年6月1日現在

**加盟都市数 10,000都市 を目指しています！**

平和首長会議では、核兵器のない平和な世界の実現に向けた大きな潮流をつくるため、**10,000都市加盟**を目指し、加盟拡大に取り組んでいます。海外の姉妹・友好自治体で、平和首長会議に未加盟の自治体がある場合は、是非加盟の呼び掛けにご協力をお願いします！

6月1日付新規加盟自治体一覧(PDF):  
[https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2023/file-2305-newmembers2306\\_jp.pdf](https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2023/file-2305-newmembers2306_jp.pdf)

加盟都市数一覧(国・地域別) (PDF):  
[https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/monthly/file-07\\_membership\\_by\\_country\\_jp.pdf](https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/monthly/file-07_membership_by_country_jp.pdf)

=====  
■専門委員によるレポート  
=====

● 禎子さんに捧げる詩集 フェリペ・セルブロ氏著『プルトニウム・クラスター』

報告: 平和首長会議専門委員 相川知子氏

2023年4月19日、スペイン・カステルデフェルズ市で、人権擁護都市プロジェクト2023年ツアーの開会式が行われました。平和首長会議加盟都市であるカステルデフェルズ市の後援の下、平和団体「平和と連帯」のルルデス・カレラ氏により主催されたこの式で、禎子さんに捧げられた詩集が発表されました。

フェリペ・セルブロ氏著『プルトニウム・クラスター』は、被爆から10年後に放射線の影響で亡くなった少女、佐々木禎子さんに捧げられた詩集です。折り鶴を千羽折ると願い事が叶うという言い伝えを知った禎子さんが千羽鶴を完成させたにもかかわらず亡くなった実話は、世界中で知られています。セルブロ氏が禎子さんに捧げる力強い詩は、あらゆる人々が日々を平穩に過ごすことのできる基本的な人権を持つことを読者に思い起こさせるものとなっています。



「人権擁護都市」プロジェクト 2023 年ツアー開会式の様子  
写真提供: フェリペ・セルブロ氏



2019 年、被爆者と共に原爆の子の像に  
千羽鶴を捧げるセルブロ氏(左)  
写真提供: フェリペ・セルブロ氏

2019年に初めて広島を訪れたことが、同氏の詩集制作のきっかけとなりました。広島での衝撃的な経験に圧倒されたセルブロ氏は、感情を言葉にすることに苦勞し、作品の制作を一時中断しましたが、2021年にスペイン文化省から「文学作家の国際移動促進のための特別助成金」の受賞者に選ばれ、2022年9月に広島を再訪することになりました。この訪問の際の新たな発見や省察が、同書に収録された作品に活かされています。

6月6日、カステルデフェルズ市は、ダンザルテ舞踏団エンカルナ・ロドリゲス氏監督の舞踏公演と併せて、RFJ図書館内マルガリータ・シルグ・スペースにて、『プルトニウム・クラスター』を取り上げた特別イベントを開催する予定です。

『プルトニウム・クラスター』の詳細については、以下のリンクをご覧ください(スペイン語)。

<https://www.entretelas.eu/libros-2023/cumulos-de-plutonio-de-felipe-servulo/>

=====  
**■平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください**  
=====

2021年7月にオンラインで開催した第12回平和首長会議理事会において、「[平和首長会議行動計画\(2021年－2025年\)](#)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた取組の推進にご協力ください。

🔗 「平和首長会議行動計画(2021年－2025年)」(PDF):  
[https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-PX\\_Vision\\_Action\\_Plan.jp.pdf](https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-PX_Vision_Action_Plan.jp.pdf)

🔗 行動計画に基づく取組(平和首長会議ウェブサイト):  
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/>



=====  
**■平和教育の取組事例を募集しています**  
=====

平和首長会議事務局では、加盟都市での取組の活性化につなげていくために、各加盟都市において実施されている平和教育の取組事例を収集し、「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介しています。

これまでにお寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

🔗 平和教育の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):  
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/edu-example/>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。頂いた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp) TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452



## ■長崎大学核兵器廃絶研究センターから:2023年版「世界の核弾頭データ」ポスターを発行

ウクライナにおける戦闘の収束が見えない中、核兵器が使用されるリスクを懸念する声はますます大きくなっています。2023年1月に更新された「終末時計」は、史上最も人類の滅亡に近い、「真夜中まで残り90秒」に針を進めました。このような不安な時代だからこそ、核兵器をめぐる世界の状況を正しく理解することがますます重要になっています。

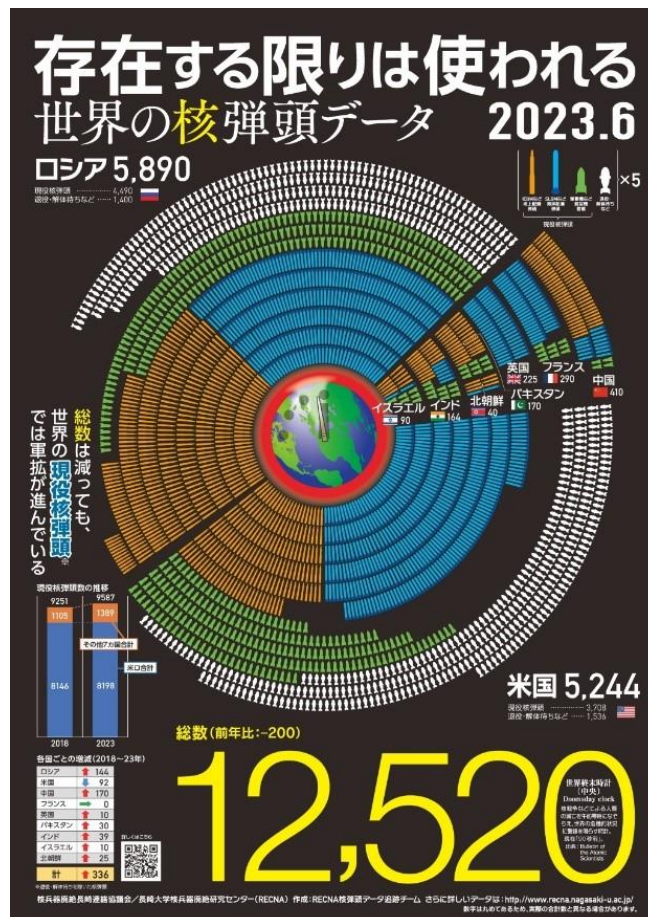
2012年の創立以降、長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)は、核兵器やその材料となる核物質をめぐる世界の状況に関する様々な情報の提供を行ってきました。そして今年も、核兵器廃絶長崎連絡協議会(PCU-NC)※の協力の下、2023年版「世界の核弾頭データ」ポスター(日本語・英語・韓国語)を作成・配布し、また、ウェブ上で各国の核戦力に関する詳細なデータベースを公表しましたのでお知らせします。

2023年6月現在、地球上に存在する核弾頭(核兵器の核爆発を起こす部分)の総数は、推定12,520発です。昨年の総数は12,720発ですから、200発の減少となります。しかし、残念ながら単純に喜べる状況にはありません。

次回以降、このポスターを使いながら、核弾頭をめぐる世界の現状について詳しく紹介していきたいと思えます。

※ 核兵器廃絶長崎連絡協議会:長崎県、長崎市、長崎大学の三者で構成される核兵器廃絶のための協議会

2023年版「世界の核弾頭データ」ポスター



長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)提供  
RECNA核弾頭データ追跡チーム作成

2023年版「世界の核弾頭データ」ポスター(長崎大学核兵器廃絶研究センターウェブサイト):  
<https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/topics/43620>

データベース「世界の核弾頭一覧」(長崎大学核兵器廃絶研究センターウェブサイト):  
[https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/nuclear1/nuclear\\_list\\_202306](https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/nuclear1/nuclear_list_202306)



=====  
**■ヒロシマ発平和関連ニュース(連載第104回)**

[中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]  
=====

広島で先進7カ国首脳会議(G7サミット)が開かれた5月19~21日とその前後の時期、広島市内は厳戒態勢が敷かれ、7カ国と拡大会合の出席国の首脳を乗せた車列が市内を何度も行き来しました。ロシアによる侵攻と「核のどう喝」を受けているウクライナからは、ゼレンスキー大統領が電撃訪問を果たしました。

今、広島はすっかり平穏を取り戻しています。しかしそれまでは県民、市民、もちろん報道機関も、サミットに向けてさまざまな準備作業に奔走しました。中国新聞は、5月12日に12ページ建ての特別紙面を日本語版と英語版で発行しました。17~19日付では、新聞の1ページ目と最終面を見開き1ページとしてレイアウトする特別紙面を。さらに、核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)を代表して2017年のノーベル平和賞授賞式に登壇したカナダ在住の被爆者、サーロー節子さん(91)のインタビュー記事を日本語、英語、ロシア語の3カ国語で掲載しました。

これらの特別紙面の作成は「サミットで被爆地に集う首脳や各国の報道関係者に、原爆被害の悲惨な実態を真の意味で知ってほしい。このようなことを二度と起こさないと決意し、核兵器廃絶への具体的な道筋を打ち出してほしい」という私たちの思いからでした。

先月、この欄で「首脳たちはどんな合意をしたり、発信をしたりしているのでしょうか。ヒロシマからの訴えと、どれだけ重なるのか。被爆者が『来てくれてよかった』と思える会議になっているのか…。後世の歴史に残るであろう3日間を私たちは丹念に事後検証します」と書きました。サミットでは核軍縮に関して初となる文書が出されましたが、核抑止の「防衛目的」での役割を肯定する内容だったことも厳然たる事実です。高揚感が沸いた広島が平穏を取り戻した今から、長期にわたる取り組みをしていきます。

関連記事は次のアドレスで読むことができます。

広島サミット2023特別紙面のコーナー(特別紙面のPDFを全て掲載)

[https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?post\\_type=summit2023\\_newspaper&lang=ja](https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?post_type=summit2023_newspaper&lang=ja)

広島サミットを終えて <1> 被爆地開催 首脳つづいた言葉に望み

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=132807>

その他、サミットに関する膨大な本数の記事をウェブサイトに載せています

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?lang=ja>

証言22年ぶり再開 被爆者の「ヒロシマを語る会」 遺族や2世も継承の力に

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=131779>

=====  
**■広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について**  
=====

核兵器禁止条約は2021年1月22日に発効し、現在68か国が批准しています。日本政府の署名・批准は、平和首長会議が目指す「核保有国を始め全ての国がこの条約に参加」するための道づくりとなるものです。

広島被爆者7団体が推進する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力ください。

🔗 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」署名用紙

<https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-syomei.pdf>

\*\*\*このメールマガジンに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください\*\*\*

#### 平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5  
(公財)広島平和文化センター 平和首長会議運営課  
TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452  
Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

平和首長会議メールマガジンの最新号やバックナンバーは、次のアドレスからご覧いただけます。  
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/newsflash>

#### 【平和首長会議公式SNSアカウント】

〈ツイッター〉  @Mayors4Peace  
<https://twitter.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉  @mayorsforpeace  
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！